

(更新：令和6年6月 計画期間：令和6年度～令和10年度)

会津地方流域の概要・特性

山水と湖水、湧水が出会う場所、会津



会津を潤す豊かな水源



後世に残したい水・水文化



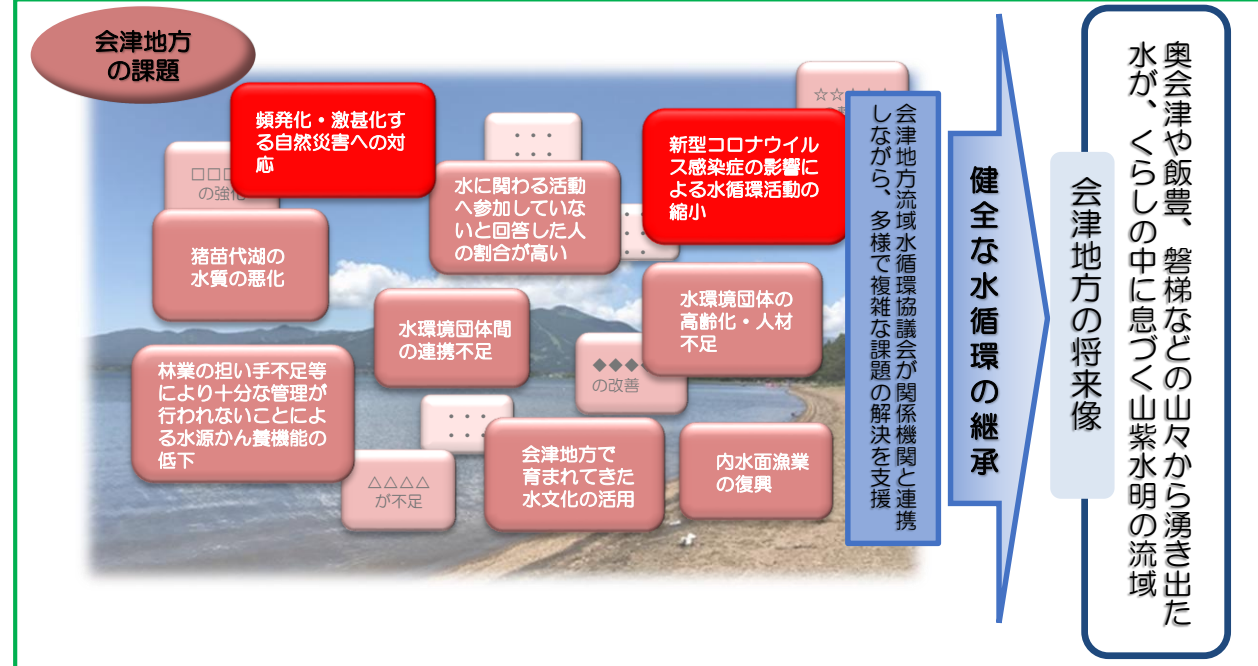
水で受け継がれてきた伝統



会津地方は、越後山脈や飯盛山地、奥会津地方の多量の降雪により、その雪融け水が地下に浸透し、豊かな湧水の源になるとともに、阿賀川や只見川などの河川や猪苗代湖や沼沢湖などの湖沼に豊かな水量をもたらし、新潟県に阿賀野川となって流れています。また、高層湿原を有する尾瀬は貴重な水環境を作り出すとともに、只見川の源流になっており、多くの川が会津盆地の東部に向かって集まり、豊かな河川水と地下水を有しています。

会津地方の水のシンボルといえる猪苗代湖は、わが国第4位の面積を持ち、湖水面標高が会津盆地や郡山盆地よりも約300m高い所にあり、また、水質が良好であることから、堰などの水利施設によって会津地方や中通り地方に導水され、大きな恵みを与えています。先人は、このような豊かな水を有効に使うため、会津盆地を始めとする各地に水路を張り巡らし、豊かな水田地帯と水文化を創り上げてきました。

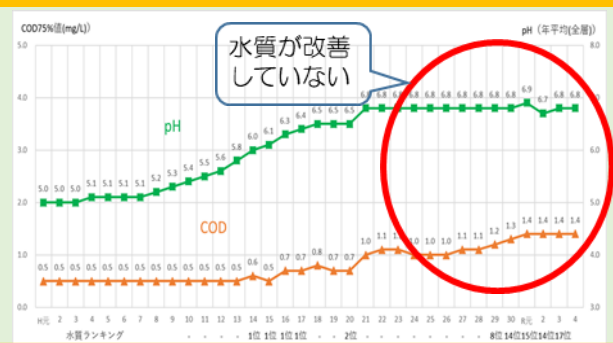
会津地方の課題と目指すべき将来像



これまでの主な取組や社会情勢の変化等による振り返り

重点施策 1 猪苗代湖等水質改善活動の支援

- 猪苗代湖の水質の推移
- ・pHは平成21年度以降6.8程度で推移し、ほぼ中性化
 - ・CODは平成14年度から上昇し高止まり



○県民が一体となった水環境活動

- ・猪苗代湖クリーンアクションを始めとして、腐敗後、水質に悪影響を及ぼす水生植物の回収などの活動が行われてきたが、コロナ禍において参加者が大きく減少

＜本計画管理指標＞ボランティアの参加者数



重点施策 2 豊かで美しい水を生かした人づくり・地域づくり

○水質保全意識の醸成

- ・子供たちの水に対する意識を高めるため「せせらぎスクール」や「水の作文コンクール」などの取組を進めており、参加数は年々増加
- ・また、水に関するボランティア活動への参加について、一度も参加したことない人の割合は減少

県政世論調査（令和4年度）（会津）

水に関するボランティア活動等へ一度も参加したことない
H29：67% → R4：51%
⇒減少しているが、約半数が参加していない

○防災意識の啓発

- ・豪雨から子供の命を守る出前講座などの取組が進められている
- ・また、近年、水害が頻発化・激甚化しており、水害などに対する不安や心配が大きくなっていることから、防災や減災の取組を充実していく必要がある

県政世論調査（令和4年度）（会津）

○豪雨などによる災害の発生に対する不安
H29：44% → R4：48%

重点施策 3 水環境団体の取組支援とその活性化

○水環境団体への若い世代の参画促進

- ・大学生のボランティアサークルの参画による水環境活動を実施
- ・コロナ禍で活動が途絶えたことから、再度連携を構築していく必要がある

水環境団体アンケート結果（会津）

若い世代の参画がない団体 31%
若い世代の参画が必要 78%

○水環境団体間の連携・交流の推進

- ・水環境団体の主体的な取組である福島県水環境団体交流会（さらさら）について、有意義な取組であることから、引き続き支援を継続
- ・各地方流域水循環協議会研修会については、連携・交流の場として内容の充実を図っていく必要がある

○水環境団体の活動支援

- ・水との共生出前講座による専門家派遣や水環境活動企画提案事業による活動のサポートを実施
- ・効果的な取組であることから、引き続き支援を継続

水環境団体アンケート結果（会津）

効果的な活動に必要な情報
他団体の活動状況 69%
行政機関の支援制度 38%
後継者不足解決事例 38%

重点施策 4 会津地方の水文化の継承

○水にふれ、学ぶ取組の推進

- ・県民の皆さんの身近な水への関心高めるため「ふくしまの水に触れよう」イベントを実施

重点施策 5 水循環施策の窓口機能の強化

○水環境団体の連携・交流の促進

- ・福島県水環境団体交流会（さらさら）の活動を支援
- ・コロナ禍において、各地方流域水循環協議会の活動は研修会の開催にとどまった

○会津地方流域水循環協議会による各流域が抱える課題解決への支援

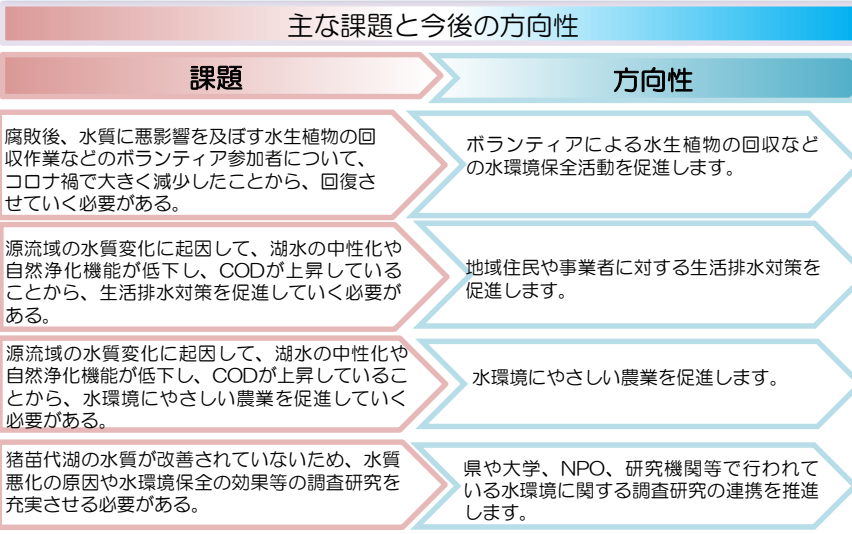
- ・各水環境団体が地方流域水循環協議会に期待する役割は多岐にわたっている

＜水環境団体アンケート結果＞（会津）
地方流域水循環協議会に期待する役割

水環境などについての情報発信 38%
水環境活動の実施 38%
資材提供 38%
行政機関の支援制度情報提供 23%
若い世代の活動情報提供 23%
ボランティアの活動情報提供 23%

重点施策1 猪苗代湖等の水質改善活動の支援

猪苗代湖では、近年、源流域の水質変化に起因して、湖水の中性化や猪苗代湖特有の自然浄化機能が低下し、CODについては、水質環境基準は達成しているものの、高止まりで推移しています。また、秋元湖や首原湖で水質環境基準を達成していない状況です。猪苗代湖等の水質改善を図るため、地域住民や水環境団体等が行っている環境保全活動を促進、支援します。




具体的な取組

猪苗代湖等の水質改善を図るため、生活排水対策や水環境にやさしい農業を推進するとともに、県民が一体となった環境保全活動の輪を広げます。

県民が一体となった水環境保全活動


ボランティア参加者の情報共有や協力体制の構築を進め、県民が一体となった水環境保全活動の大規模な展開を図ります。



県民ボランティアによるヨシの刈取り

生活排水対策の促進


地域住民及び事業者に対する啓発を通じて、下水道や農業集落排水施設への接続や、窒素・りん除去型浄化槽への転換を促進します。



窒素・りん除去型浄化槽設置促進チラシ

水環境にやさしい農業の推進

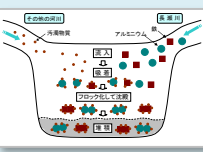
福島県みどりの食料システム計画に基づく環境負荷低減事業活動の認定や特別栽培農作物の生産者の育成、稲作での施肥量を低減する側条施肥田植機等の導入を推進します。



側条施肥田植機（猪苗代町）

水環境に関する調査研究の連携推進

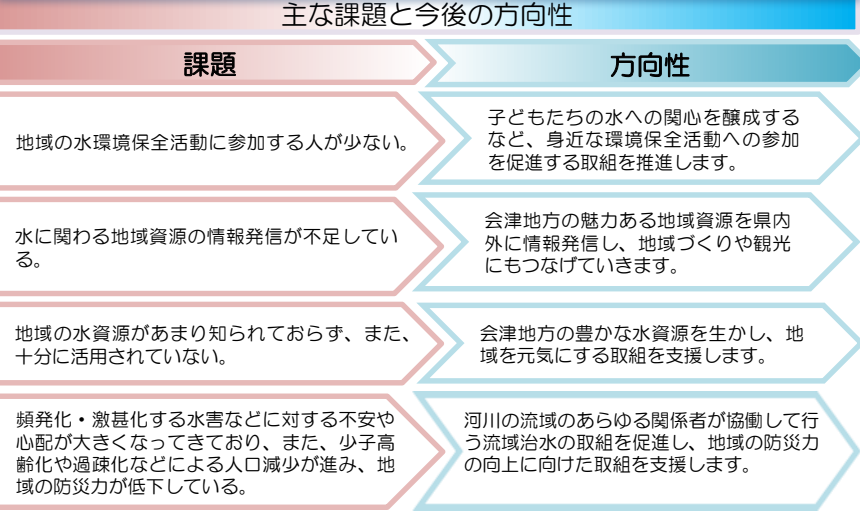
県環境創造センターや大学、NPO、研究機関等の各機関が実施する猪苗代の水環境に関する調査研究の連携を推進します。



猪苗代湖水質浄化のイメージ

重点施策2 豊かで美しい水を生かした人づくり・地域づくり

会津地方の流域は、豊かで美しい水により育まれた名水や地酒、温泉、景勝地などの地域資源に恵まれています。地域の水環境保全活動への参加が進まない状況にあります。地域の水資源に関する意識や関心を高め、会津地方の美しい水環境を守っていくため、身近な水環境保全活動への参加を促進するとともに、これらの水資源を流域の魅力として活用し、地域を元気にする取組を支援します。また、水害などに対する不安や心配が大きくなっていることから、流域治水などの取組を促進します。




具体的な取組

子どもたちへの環境教育を充実させるとともに、地域住民や水環境団体の連携や交流を促進するなど、健全な水循環を支える人づくり、地域づくりを支援します。

水質保全意識の醸成

水生生物による水質調査を行う「せせらぎスクール」や、「水の作文コンクール」などを通じて、子どもたちの水に対する意識を高めていきます。



せせらぎスクール

豊かな水資源の発信


会津地方の名水や地酒、温泉など、豊かな地域資源を情報発信し、地域づくりや観光などにつなげます。



金山町の炭酸水
会津地方の地酒を飲む県内の日本酒

水を生かした地域づくり

各流域の豊かな水資源を活用し、地域を元気にする取組を支援します。



会津地方の水文化を学ぶツアー

防災意識の啓発

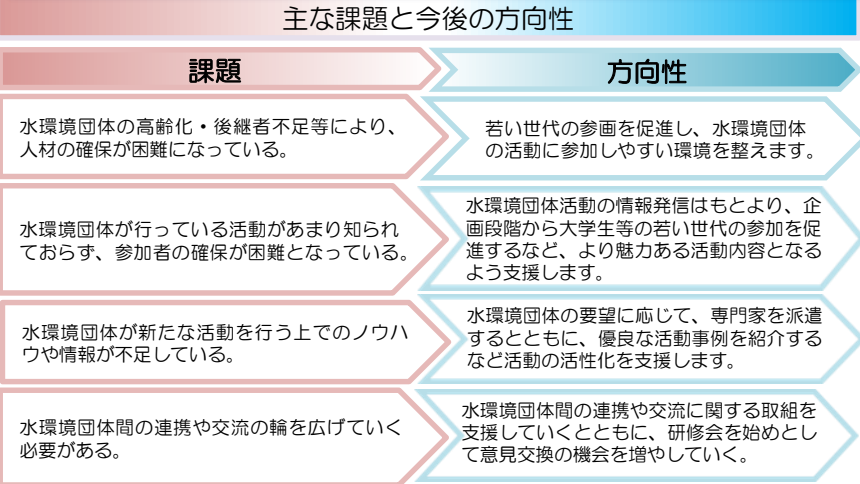
河川の流域のあらゆる関係者が協働して行う流域治水の取組を促進し、地域の防災力の向上に向けた取組を支援します。



流域治水をテーマとした研修会の開催

重点施策3 水環境団体の取組支援とその活性化～自然と人々の営みを支える水との共生～

会津地方の各流域は豊かな水環境に恵まれ、清らかな水が自然を育み、人々の生活を支えてきました。この豊かな水環境を守るため、水環境団体による様々な活動が行われていますが、構成員の高齢化や後継者不足のほか、水環境団体間の連携や交流が十分に図られず活動が広がらないなどの課題を抱えています。このため、水環境団体の活動を広く知ってもらい、団体間の連携や交流を促進させることにより、人材の確保や活動の活性化につなげていきます。



具体的な取組

水環境団体の人材確保や情報発信の支援を行うとともに、水環境団体間の連携・交流の取組を支援し、水環境団体の活動の活性化を図ります。

水環境団体への若い世代の参画促進


大学等と連携して若い世代の参画を促進するなど、水環境団体の活動に興味を持ってもらい、活動に参加しやすい環境を整えます。



大学生対象イベント

水環境団体の活動に関する情報発信


福島県HPや若者たちの情報発信ツールなども活用し、水環境団体の活動を紹介します。



若者のSNS等の活用

水環境団体の活動支援

勉強会や講演会等に講師を派遣する「水との共生出前講座」などを活用し、水環境団体の活動を支援します。



水との共生出前講座

水環境団体間の連携・交流の推進

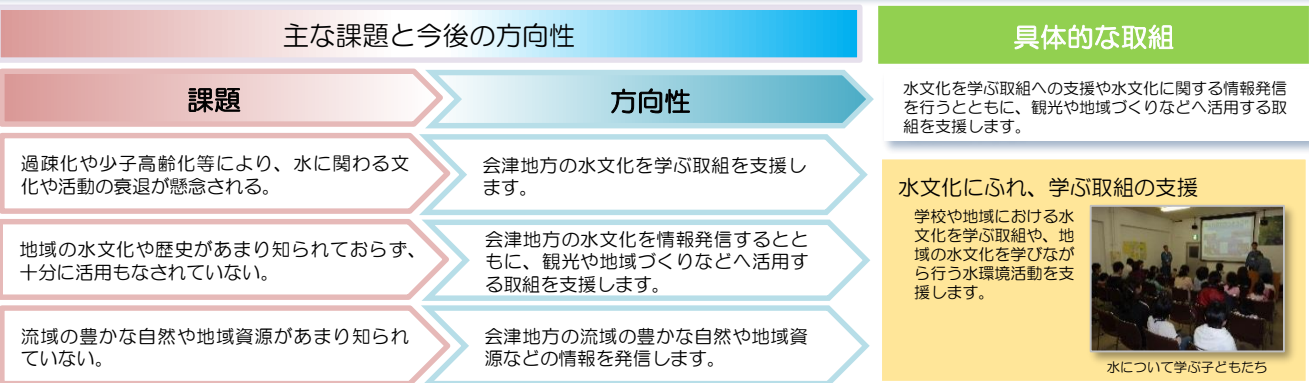
福島県水環境団体交流会の活動を支援するなど、水環境団体間の連携や交流の機会を充実させます。



阿賀川の水環境団体連携活動

重点施策4 会津地方の水文化の継承

会津地方では、水に関わる祭事や伝統工芸など各地に残されていますが、これらの「水文化」は、中山間地域の過疎化や少子高齢化などにより、伝統文化の担い手が縮小し、衰退が懸念されています。このため、地域の水文化を、流域の魅力として十分に活用しながら、将来に継承していく取組を支援します。



重点施策5 水循環施策の窓口機能強化

会津地方の各流域が抱える水環境の問題は多様化しており、流域に関わる様々な主体が課題を共有し、連携しながら一緒に取り組んでいくことが求められています。そのため、関係団体が直面している課題について知恵を出し合いながら解決していくため、会津地方流域水循環協議会が調整機能を果たします。

